

麻溝地域まちづくり提言書



～市立相模原麻溝公園～

平成20年5月
麻溝地域まちづくり会議

提言にあたって

私たちの麻溝地域は、相模原市の南部に位置し、相模川や鳩川、姥川、八瀬川、道保川など豊かな水とみどりを有し、約1万7千人（市人口の2.5%）が住む歴史と伝統ある地域です。

近年では、さがみ縦貫道路の（仮称）相模原インターチェンジの開設に向け、県道52号（相模原町田）の整備を含む周辺地区の開発や、「新しい交通システム」の実現に向けた取組みなどが進められております。

しかし、地域を取り巻く環境は急速に変化し、一人暮らしの高齢者の増加、交通事故や犯罪の増加、環境問題など、安全安心に、そして快適に暮らすために解決しなければならない課題が山積しています。

このような状況を踏まえ、このたびの、新しい総合計画及び新都市計画マスタープランの策定にあたっては、地域から「まちづくり」について提言するため、「麻溝地域まちづくり会議」を組織し、住みよい、魅力ある地域づくり、子どもたちが住んで良かったと思える地域への発展を目指して、あらゆる角度から、意見を出し合い、きめ細かい議論を重ね、ここに提言書をまとめました。

この提言書の内容は地域にとって欠かせないものばかりです。市におかれましても、住民とともに地域づくりを推進され、新しい総合計画及び新都市計画マスタープランの策定に生かしていただくようお願いいたします。

平成20年5月

麻溝地域まちづくり会議

会長 迫切 睦廣

目 次

1 地域の現況と課題	P 1
2 重点提言項目(地域重点方策)	P 2 ~ 3
(1) 都市基盤、交通利便性の向上を目指したまちづくり	
(2) だれもが安全で安心できるまちづくり	
(3) 次代を担う子どもたちがのびのび育つまちづくり	
(4) 地域コミュニティの活力あるまちづくり	
(5) 地域資源を活かした、魅力とやすらぎのあるまちづくり	
3 分野別のまちづくり提言	P 4 ~ 12
(1) 都市基盤・交通	
(2) 安全・安心	
(3) 医療・福祉	
(4) 教育	
(5) 地域コミュニティ	
(6) 産業・観光	
(7) 環境	
4 提言図	P 14
(付属資料)	
* 会議経過	P 15
* 麻溝地域まちづくり会議 会則	P 16
* 委員名簿	P 17

1 地域の現況と課題

麻溝地域は、相模川や鳩川、姥川、八瀬川、道保川の河川と道保川緑地、相模川河岸段丘一体のみどり、その周辺に広がりを見せる農地など豊かな自然に恵まれており、当麻山無量光寺や八景の棚に代表される史跡・名勝の多く残るまちです。

近年では、さがみ縦貫道路の（仮称）相模原インターチェンジの開設に向け、県道52号（相模原町田）の整備を含む周辺地区の開発や、「新しい交通システム」の実現に向けた取り組みなど、一層都市化が進行していくと思われ、地域を取り巻く環境は大きく変化しようとしております。しかしながら、旧来からの地域は道路が狭く、車のすれ違いも困難な状況にあります。

このことから、みどりや農地など豊かな自然を活かしながら、都市基盤の整備、生活環境の充実、次代を担う子どもたちの育成に向けた取り組みや地域コミュニティの活性化が、地域づくりの大きな課題となっています。

2 重点提言項目(地域重点方策)

本地域は、次の5点を重点的な提言とします。

(1) 都市基盤、交通利便性の向上を目指したまちづくり

原当麻駅と相模大野駅、主要施設を結ぶ「新しい交通システム」の早期実現を図るとともに、生活交通の利便性の向上のため、地域の足であるJR相模線の複線化やバス路線の充実に向けて取り組む。

また、「さがみ縦貫道路(仮称)相模原インターチェンジ」に接続する道路、県道52号(相模原町田)などの主要幹線道路の拡幅整備を図るとともに、麻溝台・新磯野地区や当麻地区を新たなまちづくりの拠点として、土地区画整理事業などの手法により整備を行う。

(2) だれもが安全で安心できるまちづくり

生活道路の歩車道分離や、狭あい道路の拡幅整備を行い、歩行者も車両も安全に通行できる道路づくりを進める。

身近な医療の充実に向け、地域の医療機関や福祉施設を有効に活用した医療体制の充実を促進する。

また、増大する救急需要などを勘案し、救急隊の到着時間の短縮による救命率の向上に向け、地域への消防分署の整備を行う。

(3) 次代を担う子どもたちがのびのび育つまちづくり

地域の持続的な発展の主役である子どもたちが、のびのびと育つために、小・中学生の教育環境の充実や通学路の安全確保策を図るとともに、コミュニティ広場やスポーツ広場などを整備し、子どもたちの居場所づくりを進める。

(4) 地域コミュニティの活力あるまちづくり

地域コミュニティのさらなる充実を図るために、ふるさとまつりなど、地域の連帯感を深める活動を盛んにし、地域に関わりがある誰もが活動に参加しやすい仕組みづくりを進める。

また、公民館、出張所の建て替えを行い、地域コミュニティの中心の場としての機能拡充を図る。

(5) 地域資源を活かした、魅力とやすらぎのあるまちづくり

本地域の相模川、鳩川、姥川、八瀬川、道保川を中心とした豊かな自然、市民の憩いの場である県立相模原公園や市立相模原麻溝公園、古くから残る当麻山無量光寺、八景の棚などを保全する。あわせて、点在するこれらの地域資源の連携を進め、相乗効果を発揮できるようにするとともに、観光PR活動を進めるなど、観光振興を図る。

また、都市近郊にもかかわらず、優良な形で多く残る農地を、農業振興と地域の魅力づくりの重要な資源として活用するとともに、官民協働による農業政策を進める。

3 分野別のまちづくり提言

(1) 都市基盤・交通

分野別課題

麻溝地域では、県道52号（相模原町田）や都市計画道路嶽之内当麻線などの主要幹線道路が慢性的な渋滞を抱えており、今後、さがみ縦貫道路（仮称）相模原インターチェンジの開通に併せてこれらの道路のさらなる渋滞が予想されており、拡幅整備などの早急な対応が必要です。さらに、旧来の地域においては、狭あい道路が多く、緊急時や災害時などに通行が困難となることが心配される地域もあり、早急な整備が必要です。

また、麻溝台・新磯野地区や当麻地区は、土地区画整理事業により整備を行うなど、計画的な土地利用が求められています。

交通については、公的機関や主要な施設などへのアクセスに不便を感じることも多く、今後整備が予定されている新しい交通システムの早期実現や地域の足であるJR相模線の複線化、バス路線の充実が必要です。

提言項目

ア 道路基盤（円滑な道路交通の確保）

県道52号（相模原町田）、都市計画道路嶽之内当麻線などの主要幹線の拡幅整備を図る。

災害時などの避難路や緊急車両の進入路確保のため、狭あい道路の拡幅整備を図るとともに、危険箇所へのカーブミラーなどの交通安全施設の設置を進める。

イ 拠点の整備

麻溝台・新磯野地区の土地区画整理事業などによる都市基盤の整備を図る。

さがみ縦貫道路（仮称）相模原インターチェンジ周辺の計画的な土地利用を図る。

ウ 交通（交通利便性の向上）

相模大野駅と原当麻駅を結ぶ新しい交通システムの早期実現を図る。

J R相模線の複線化とともに、運行本数の増加を促す。

市役所や病院などの公的機関へのバス路線の充実を促す。

生活交通を確保するため、コミュニティバスなどによる交通利便性の向上を図る。



（仮称）相模原インター周辺



地域防災訓練の様子

(2)安全・安心

分野別課題

防犯パトロールや子どもの見守りなどの地域活動は活発化しており、地域住民の意識は高まってきているものの、空き巣や車上荒しなど、身近なところで犯罪が発生している状況であり、日頃から防犯に対しての意識を高めるなど、防犯対策の強化が必要です。

また、麻溝地域には消防署が無く、救命率の向上や増大する救急需要などに対応するため、救急自動車や消防車が速やかに現場に到着できるよう、消防分署の整備が必要です。

災害時に助け合うためには、自治会や隣近所による地域連携を図り、要援護者の把握など、日頃からの備えが必要です。

提言項目

ア 安全で安心して暮らせるまちづくり

防犯パトロールや啓発活動などを行うとともに、警察と地域、市が連携して、情報を集約するなど、防犯対策の強化を図る。

地域住民が日頃から防犯に対しての意識を高めるとともに、(仮称)相模原インターチェンジ開設による主要幹線道路の交通量の増加や、麻溝地域の人口増加が予測されることから、増設も含めて交番の適正配置を促す。

イ 災害に強いまちづくり

地域住民と市が連携して、災害時要援護者の把握に努める。

災害に対する啓発活動を行うとともに、避難所運営の体制づくりを進める。

救急隊の到着時間の短縮による救命率向上や増大する救急需要などに対応するため、地域内に消防分署を整備する。

(3) 医療・福祉

分野別課題

麻溝地域は重篤な救急患者を24時間体制で受け付ける北里大学病院が立地しており、救急医療体制は整備されています。しかしながら、新しい住民への身近な医療機関の周知度が低く、PRすることが必要です。

また、高齢社会に向け、身近な場での福祉施設や介護私設等の充実が必要です。

提言項目

ア 身近な医療・福祉の充実

専門診療科目などの情報が盛り込まれた身近な医療機関のマップなどを作成するとともに、地域の家庭に配布することにより、周知を図る。

今後も増えることが予想されている高齢者がいきいきと生活できるよう、地域における高齢者福祉施設の充実を図る。

障害者の地域生活を支えるため、地域における障害者福祉施設の充実を図る。

(4)教育

分野別課題

麻溝地域は、人口増加率が高く、比較的年齢の若い人が多いことから、近年、子どもが増えてきており、教育環境や子育て環境の充実が求められています。

そのため、相陽中学校では、1クラスあたりの生徒数が多いことや、電車通学をしている生徒もいることから、中学校の新設も含め、改善が必要です。また、通学時における自転車による交通事故などを減らすため、通学路の整備などが必要です。

また、子育て支援や子どもの居場所づくりとして、コミュニティ広場など子どもが安全に屋外で遊べる環境づくりが必要です。

提言項目

ア 教育環境の充実

学校の規模適正化を図るため、中学校の新設や少人数学級の編成などを進める。

事故から子どもを守るため、通学路の狭い場所の拡幅整備を図るとともに、狭い場所の周知や交通マナーの向上など、学校、地域、行政が一体となった取り組みを行う。

イ 子育て環境の充実

コミュニティ広場など、子どもが自由に遊べ、スポーツなどができる場所の整備を図る。

親子がともに利用できる子育て支援の場を確保する。

(5) 地域コミュニティ

分野別課題

自治会や地域活動において、若者などの参加が課題となっています。

地域の活性化のために、ふるさとまつりなどの地域の連帯感を深める活動を盛んにするとともに、若者や新しい住人も地域の活動に参加しやすい工夫が必要です。

また、公民館、出張所の老朽化が進んできており、建て替えを含め、地域コミュニティの中心の場としての機能拡充が必要です。

提言項目

ア 地域活動の活性化

自治会活動やふるさとまつりなどのイベントを盛んにし、連帯感を深める。

若者や移り住んできた人も地域活動に参加しやすい工夫を行う。

地域の学校と連携し、ボランティア活動を教育の一環として単位取得を認め、地域活動への参加を促す。

女子美術大学や北里大学、地域、行政が連携し、新たな地域コミュニティを目指した地域振興を図る。

イ 地域活動の場の充実

公民館、出張所の建て替えを行う。また、建て替え時に、交番などの公的機関も一箇所にまとめ、地域の中心の場として一体的に整備する。

地域住民が使いやすいように、公民館や出張所の駐車場を確保する。

(6) 産業・観光

分野別課題

麻溝地域は農地が多く残っていますが、高齢化や農業後継者の減少が進んでおり、農業の魅力づくりや特色を活かした農業振興が必要です。

また、商業については、商業地の集積がされておらず、今後のさがみ縦貫道路(仮称)相模原インターチェンジ周辺の整備とともに、さらなる企業誘致が求められています。

観光については、文化遺産や八景の棚などの観光資源があるものの、有効な活用ができておらず、地域の活性化を図る上でもさらなる活用方法の検討が必要です。

提言項目

ア 農業の振興

地元農業生産物などの物産展ができる場所をつくり、農業振興を図る。

農用地域や遊休農地を有効活用し、生産性を上げるとともに流通ルートを開拓し、地産地消を進める。

農業従事者の後継者の確保や育成を行う仕組みづくりなど、官民協働による農業政策を進める。

イ 商業施設の充実

原当麻駅周辺は地域の中心として、また、周辺観光の基地として、商業施設の集積を図る。

ウ 観光の振興

八景の棚に水道やトイレなどの休息施設の整備を行う。

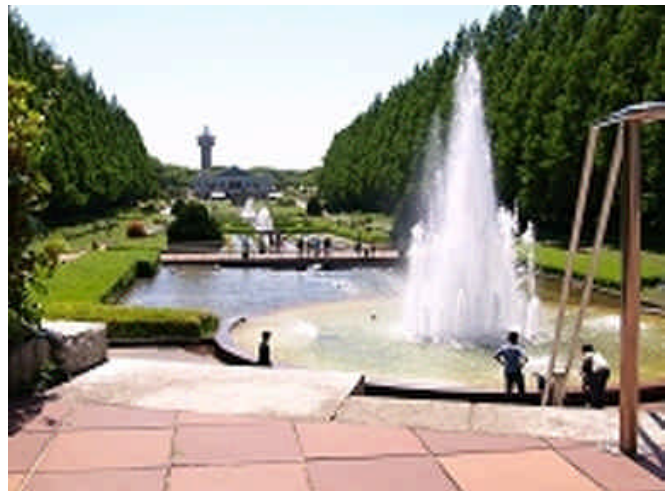
八瀬川、道保川に生息するホタルを守るとともに保護活動などを通して、自然体験学習ができる場とする。

相模川や鳩川、姥川、八瀬川、道保川の水辺や散歩コースの整備を行い、地域の人々の交流の場とする。

地域に点在する文化遺産など（当麻山無量光寺、亀形遺跡など）の保存を行うとともに、それらを線でつなぐ散策路の整備やPR活動などを含め、観光資源としての活用を図る。



当麻山無量光寺（中門）



県立相模原公園・市立相模原麻溝公園

(7)環境

分野別課題

麻溝地域は相模川、鳩川、姥川、八瀬川、道保川や道保川緑地、横山丘陵などの良好な自然やまとまりあるみどりがあります。また、県立相模原公園や市立相模原麻溝公園などがあり、市民の憩いの場として利用されており、さらなる有効利用が求められています。

生活環境においては、ゴミ集積所や公園などではゴミの散乱をよく見かけるなど、地域ぐるみでモラルの向上が求められています。

提言項目

ア 自然環境の保全・活用

県立相模原公園と市立相模原麻溝公園を一体的に整備し、市民の憩いの場とする。

フィッシングパーク跡地を有効活用できるように県に要請する。

相模川、鳩川、姥川、八瀬川、道保川や道保川緑地、横山丘陵など、豊かな自然環境を保存するとともに、市民の憩いの場として活用を図る。



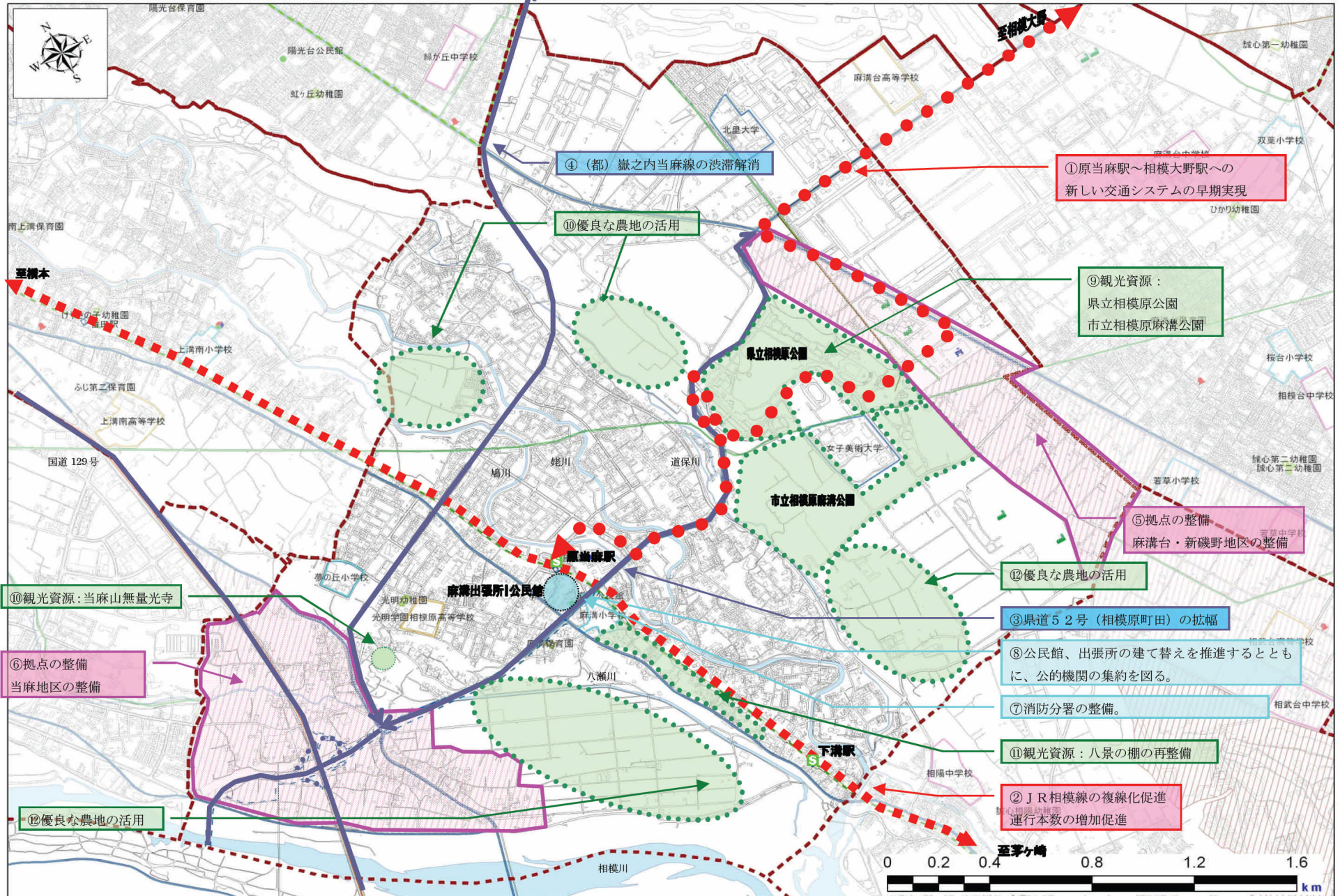
豊かな自然環境（相模川）

イ 良好な生活環境の保全

住民参加の美化活動を活発に行い、公園や広場をきれいにする。

ゴミ集積所のゴミが散乱しないように地域ぐるみでモラルの向上を図る。

4 提言図



この提言図は重点提言項目(地域重点方針)のうち图示できる事業のみ表しました。

(付属資料)

会議経過

日程	会議内容	委員出席数
平成19年 7月19日(木)	第1回麻溝地域まちづくり会議準備会 ・会則、公募方法等の検討	3名
9月7日(金)	第2回麻溝地域まちづくり会議準備会 ・公募の選考等	2名
9月25日(火)	第1回麻溝地域まちづくり会議 ・会則(案)、役員を選出	16名
10月17日(水)	第2回麻溝地域まちづくり会議 ・地域の課題(良い点・悪い点)の抽出	11名
11月13日(火)	第3回麻溝地域まちづくり会議 ・地域の課題(良い点・悪い点)の抽出	10名
12月6日(木)	第4回麻溝地域まちづくり会議 ・地域の課題(良い点・悪い点)の取りまとめ	10名
平成20年 1月9日(水)	第5回麻溝地域まちづくり会議 ・地域の課題から見る分野別まちづくり提言項目の検討	13名
2月7日(木)	第6回麻溝地域まちづくり会議 ・重点提言項目の検討	13名
2月26日(火)	第7回麻溝地域まちづくり会議 ・提言図、提言書案の検討	8名
3月26日(水)	第8回麻溝地域まちづくり会議 ・提言図、提言書案の検討 傍聴者 1名	14名
4月17日(木)	地域説明会 説明会参加者 10名	12名



地域説明会(4/17)

麻溝地域まちづくり会議 会則

(名称)

第1条 本会は麻溝地域まちづくり会議(以下「まちづくり会議」という。)と称し、事務局を相模原市企画財政局企画部企画政策課に置く。

(目的)

第2条 まちづくり会議は、相模原市(以下「市」という。)の新しい総合計画及び新都市計画マスタープランの策定に際し、麻溝地域のまちづくりの方向性等について検討した結果を提言書としてまとめ、市へ提言するとともに、連帯感のある住み良い地域社会を実現していくことを目的とする。

(構成及び任期)

第3条 まちづくり会議は、麻溝出張所管内に住所を有している者のうち、別表に掲げる者をもって構成する。

2 構成員の任期は、平成21年3月31日までとする。

3 構成員に欠員が生じ、構成員を補充する必要があると認められる場合には、後任者を選定する。

(会長及び副会長)

第4条 まちづくり会議に、会長及び副会長を置くものとし、構成員の互選により決定する。

2 会長及び副会長の任期は、まちづくり会議の構成員の任期によるものとする。

3 会長は、まちづくり会議を代表し、会務を総括する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 まちづくり会議の会議は、会長が招集する。

2 会議の議長は、会長が務めるものとする。

3 会議は、構成員の半数以上の出席をもって開催することとする。

4 会長は、必要があると認めるときは、会議に諮り、構成員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。

(公開)

第6条 会議は原則として公開とし、傍聴について必要な事項は別に定める。

(地域説明会)

第7条 麻溝地域のまちづくりについての提言書をまとめるにあたっては、まちづくり会議が主体となって、地域住民から幅広く意見を求めることを目的とした地域説明会を開催する。

(委任)

第8条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この会則は、平成19年9月25日から施行する。

委員名簿(別表)

	氏名	選出団体	役職	備考
1	追切 睦廣	麻溝地区自治会連合会	会長	
2	関山 泰孝	麻溝公民館	副会長	
3	杉崎 日出夫	麻溝地区社会福祉協議会	副会長	
4	小泉 嘉孝	元麻溝地区民生委員児童委員協議会		H19.9.25 ~ H20.1.9
	高橋 功	麻溝地区民生委員児童委員協議会		H20.1.9 ~
5	井上 倭佐男	麻溝地区観光協会		
6	仙波 正男	麻溝地区自治会連合会		
7	山本 文夫	麻溝地区自治会連合会		
8	座間 正見	麻溝地区防犯協会		
9	中村 俊夫	麻溝地区老人クラブ連合会		
10	小泉 由弘	麻溝小学校PTA		
11	菅沼 紀孝	相陽中学校PTA		
12	福田 豊	麻溝地区子ども会育成連絡協議会		
13	安藤 正義	麻溝地区青少年健全育成協議会		
14	野口 功	相模原市体育指導員		
15	小山 桂一	麻溝地区商工振興会		
16	白井 正明	相模原市農協麻溝支店運営委員会		
17	中嶋 ミサ	麻溝公民館運営協議会委員		
18	座間 照義	地域活動経験者		
19	神坂 大和	公募委員		

(事務局)

企画政策課	長田 尚
	栗山 英樹
都市計画課	水内 智
都市交通計画課	道祖 英一
麻溝出張所	榎本 正
麻溝公民館	石川 雅一

